

湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活(れいわしょうかつ)』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文
令和元年8月28日

全国学力・学習状況調査の結果

	国語	数学	英語
本校	75.0	64.0	55.0
鳥取県	73.0	60.0	54.0
全国	72.8	59.8	56.0

4月18日に行われた全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。(県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表)

本校の結果は上記のとおり、英語だけは全国平均を1ポイントだけ下回りましたが、国語は2.2ポイント、数学では4.2ポイント上回っています。

本調査は、学力調査だけでなく質問紙調査もあり、学習習慣や生活習慣に関する調査も行っています。中には保護者の皆さまにもご協力いただきたい課題もありますし、3年生だけでなく学校全体の課題としてとらえていくべき点もあります。今後、それぞれの課題を改善できるように取り組んでいきたいと思ひます。

ご家庭でも家庭学習をしっかりと定着させ、計画的で充実した取り組みとなるようよろしくお願いしします。3年生には、後日、各自に個人票を返します。

【教科に関する調査から】 (○正答率が高い項目・▲正答率が低い項目)

《教科の概要・国語》

全体の平均正答率、各領域の正答率とも全国・県の平均を上回った。

○「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」など「書くこと」の問題が特によくできていた。

《教科の概要・数学》

全体の平均正答率、各領域の正答率とも全国・県の平均を上回った。

○「資料を整理した表から最頻値を読み取る」「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」など「資料の活用」の問題がよくできていた。

《教科の概要・英語》

全体の平均正答率は、県を上回ったが全国平均をわずかに下回った。

○「まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する」など「読むこと」の問題がよくできていた。

▲「与えられた情報に基づいて、肯定文、否定文を正確に書く」など「書くこと」に課題がある。

質問紙による調査は、生徒の学校や家庭での生活の状況について尋ねたもので、学習と生活環境との関係は大いに考えられています。この結果をもとに、全国平均と比較して本校生徒の「よい傾向と思われること」と「課題と思われること」をいくつか紹介します。

【質問紙の結果】

《よい傾向と思われること(人数が多かったもの)》

○自分にはよいところがあると思う。 ○新聞を読んでいる。(週1回以上) ○生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。 ○国語の勉強が好き

○国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように工夫している。

○今住んでいる地域の行事に参加している。 ○学級での話し合いをいかして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 ○1, 2年生の時に受けた授業で、問題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。 ○英語の勉強が好き

《課題と思われること(人数が少なかったもの)》

▲学校の授業時間以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(2時間以上)

▲数学の勉強が好き

【今後の取組について】

①「協同学習の理念」をもとに、主体的・対話的で深い学びが実現される授業づくりに引き続き取り組む。

②基礎基本の定着とともに、自分の考えを持ち話し合いながら深めたり広げたりする学習活動を積み上げ、思考力や判断力、表現力等を育成する授業改善に取り組む。

③小学校との連携を深め、各校の特性を尊重し合いながら、ともに同一の方向性の授業を創造することで、9年間の一貫した教育の推進を図る。

④授業とのつながりを意識した家庭学習の推進・習慣化に取り組むとともに、家庭での基本的な生活習慣の向上について啓発し、学校と家庭の連携をより深めていく。